



各位

2019年5月15日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所  
 代表者 代表取締役社長 山口 貢  
 (コード番号 5406)  
 問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長  
 本田 和幸  
 (TEL 03-5739-6010)

業績予想に関するお知らせ

2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)の連結業績予想について、お知らせいたします。

記

2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)の連結業績につきまして、今般その見通しを得ましたのでお知らせいたします。

2020年3月期第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値(2019年4月1日~2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期第2四半期累計期間実績(A)	958,239	23,131	9,345	33,399	92.19
今回発表予想(B)	1,010,000	5,000	0	0	0.00
増減額(B-A)	51,760	△18,131	△9,345	△33,399	
増減率(%)	5.4	△78.4	△100.0	△100.0	

2020年3月期通期 連結業績予想数値(2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前連結会計年度実績(A)	1,971,869	48,282	34,629	35,940	99.20
今回発表予想(B)	2,070,000	45,000	30,000	25,000	69.00
増減額(B-A)	98,130	△3,282	△4,629	△10,940	
増減率(%)	5.0	△6.8	△13.4	△30.4	

## 業績予想の概要

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しや企業の設備投資の堅調な増加を受け、緩やかな回復基調が続くことが想定されます。一方、海外では、保護主義的な通商政策の影響を受け、中国や欧州を中心に経済成長が鈍化するものと見込まれます。保護主義的な通商政策などが景気動向に与える影響は引き続き大きな懸念材料であり、注視する必要があります。

このような中、当連結会計年度の業績については、生産設備トラブルや自然災害の影響を受けた前連結会計年度に比べ鋼材などの販売数量が回復することなどから、売上高は2兆700億円程度と前連結会計年度に比べて増収を見通しております。一方で、主原料価格及びエネルギーコストの上昇や減価償却費等の固定費の増加などのコストアップに加え、世界経済の不確定要素を一定のリスクとして織り込んだ結果、営業利益は450億円程度、経常利益は300億円程度、親会社株主に帰属する当期純利益は250億円程度と前連結会計年度に比べて減益を見込んでおります。

(注)上記の業績予想につきましては本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上